

正会員各位

昭和 49 年度役員の改選について

前号で予告いたしましたとおり、定款第 20 条にもとづき、昭和 49 年度の役員（副会長、理事、監事）の改選を行ないます。下記要領により、各位もれなく、別添の投票用紙（ハガキ）にてご投票願います。

なお、投票用紙記載の候補者は、本会理事会にて推薦するもので、参考までに、同候補者の名簿ならびに昭和 49 年度留任および退任の役員氏名を付記いたします。

記

1. 投票の資格

投票権者は定款にもとづき、正会員のみとなっております。学生会員および賛助会員は投票権はありませんので、投票用紙は添付してありません。ご了承ください。

2. 投票の方法

2.1 投票用紙の選定欄に○印をおつけください。なお、理事会推薦候補以外の方（正会員に限る）を選定される場合は、その氏名と勤務先を所定の空欄にご記入ください。

2.2 副会長は 1 名の単記、理事は各関係部門から各 2 名以内、合計 6 名以内の連記、監事は 1 名の単記とし、これをこえた場合には無効といたします。

3. 投票の締切り

昭和 49 年 4 月 13 日（土）の郵便局消印あるものまでを有効といたします。

4. 候補者氏名（理事会推薦、五十音順）

役職名	氏名	年齢 (49年4月13日現在)	勤務先
副会長	猪瀬博	46	東京大学工学部教授
"	南雲仁一	47	東京大学工学部教授
理事	相磯秀夫	42	慶応義塾大学工学部教授
"	有山正孝	44	電気通信大学教授
"	稲田伸一	41	日本国有鉄道電気局調査役
"	榎本肇	49	東京工業大学工学部教授
"	黒川一夫	50	電子技術総合研究所電子計算機部長
"	後藤英一	43	東京大学理学部教授
"	鈴木錠造	48	日本電信電話公社経営調査室事務近代化企画室長
"	高橋延匡	40	(株)日立製作所中央研究所企画室兼第 7 部主任研究員
"	中村一郎	56	東京芝浦電気(株)産業用電算機事業部技師長
"	野坂康雄	52	新日本製鉄(株)設備技術センター電気計装技術部長
"	萩原宏	47	京都大学工学部教授
"	福島邦彦	38	日本放送協会放送科学基礎研究所視聴科学研究室
"	藤田猷	41	日本ユニパック(株)金融営業本部スタッフ、サイエンティスト
"	松谷泰行	38	新日本製鉄(株)情報システム部企画第一課長
"	三井信雄	42	日本アイ・ビー・エム(株)研究所長
"	山本卓真	48	富士通(株)開発部長
"	柳井朗人	49	(株)電通タイムシェアリングサービス局長
"	渡部和	43	日本電気(株)情報処理小型システム営業本部長代理

監事	海宝 顯	45	日本アイ・ピー・エム(株)標準調査担当マネジャー
"	長森 享三	62	電気通信大学教授

5. 昭和 49 年度留・退任の役員氏名

○ 留任役員

役職名	氏名	勤務先
会長	尾見 半左右	富士通
副会長	川田 大介	日電
理事	高島 堅助	日電
"	辻岡 健	日電
"	長尾 真	京大
"	藤中 恵	日立
"	元岡 達	東大

○ 退任役員

役職名	氏名	勤務先
副会長	穂坂 衛	東大
理事	大野 豊	京大
"	落合 進	鉄研
"	杉浦 淳一郎	日電
"	中沢 喜三郎	日立
"	水野 幸男	日電
"	和田 英一	東大
監事	河野 忠義	日立

第 16 回プログラミング・シンポジウム予告

第 16 回プログラミング・シンポジウムは、1975 年 1 月 9 (木)、10 (金)、11 (土) 日の 3 日間、恒例のとおり、箱根彫刻の森ホテルで開催されることが決まりました。研究発表申し込みおよび要旨送付の締切は、8 月末日の予定です。また、参加希望の受付は、11 月に改めてご案内する予定です。その他詳細については、下記プログラミング・シンポジウム委員会へご照会ください。

なお、次回も宿題研究テーマは設けない予定です。発表にあたっては自由に話題をお選びください。また、本シンポジウム委員会では、このシンポジウムの意義を次のように考えておりますので、その趣旨に沿って、発表および参加の準備をされるようお願いいたします。

- (1) 研究者・学生・メーカー・ユーザーなどの人々の共通の討論の場である。
- (2) 学術論文の発表の場ではない。
- (3) 未完成なものであっても、プログラミングの将来に大きな影響を与えそうなホットな話題が歓迎される。
- (4) シンポジウムというものの本来の意味のとおり、積極的に質問を受け、また討論に参加する心構えが必要である。

記

申込み・問合せ先：〒160 東京都新宿区新宿 3-17-7 (紀伊国屋ビル 5 階)
慶応工学会内 プログラミング・シンポジウム委員会
電話 (03) 352-8926

第2回日米コンピュータ会議 (第一報)

(The Second USA-Japan Computer Conference)

1975年8月下旬 於東京

1972年10月に行なわれた第1回の会議は、毎年NCC(National Computer Conference)を主催しているAFIPS(米国情報処理学会連合体)と当学会の共催で行なわれ、わが国と米国のコンピュータ開拓者であるエンジニアや情報科学研究者とが直接ふれあい討論しあう機会をつくり、論文など活字を通しての情報交換ではおよびもつかない成果をあげることができました。今回は、より一層内容を充実させるべく、研究発表と検討に積極的にご参加いただくよう、ここにご案内申し上げます。

記

主 催: (社)情報処理学会
AFIPS(American Federation of Information Processing Societies)

協 賛: 前回の協賛団体など依頼手続中
会議運営委員長: 日本側 川田大介(情報処理学会)

米国側 David Brown(AFIPS)

学術講演(パネル討論会を含む): 情報処理(基礎理論, ハードウェア, ソフトウェア, システム, 計算機応用)に関する学術講演およびパネル討論会を行なう。発表論文数は日米ほぼ同数(各40~50件)とする。発表論文は英文4~8頁程度, 締切りは1974年12月頃の予定であるが, 正確な数字, 日時, 部会などについては米国との打合せのうえ決定する。

なお, 前回と多少異なり, 今回は英文の完成論文(日英両文のアブストラクト付)を審査のうえ採否を決定する(採択は論文の多少の変更を条件とすることもあり得る)ので, 早目に準備にとりかかれるようお願いしたい。テーマについては下記のようなものが含まれる。

Artificial Intelligence and Pattern Recognition
Hardware for Mass Storage and Peripherals, etc.
System Performance and Evaluation
Architecture and Large-Scale Systems
Programming Languages Methodology
Computers in Health and Medicine, etc.
Automatic Design and Fault Diagnosis
Business and Industrial Applications
Computer Networks and Data Communications
Displays, I/O, and Man-Machine Interactions
Data Bases and File Management
Operating Systems
Numerical Analysis
その他。

展 示 会: 新平和島東京流通センターにおいて, 計算機の最近技術の進歩と将来の可能性を示す展示会をあわせて行なう。

昭和 49 年 4 月情報処理学会研究会開催通知

○第 5 回設計自動化研究会* (主査: 元岡達, 代表幹事: 平川和之)

* 49 年度より, 上記のとおり名称を改めます (旧名: 計算機設計自動化研究会)

日 時 4 月 24 日 (水) 午後 2 時~5 時

会 場 機械振興会館 地下 3 階研修 1 号室

議 題 (1) 電子計算機設計自動化のためのデータベース・システム

田淵 謹也 (三菱電機)

〔概要〕 設計データを一括管理するための“データベース”を構成し, 既存の自動設計プログラムを, 情報システムとして体系化する試みを紹介する.

(2) 木状配線の理論的解析とその自動布線検査について

古賀 義亮・佐々木 勲 (防衛大)

〔概要〕 分割数の概念を導入して木状配線のモード数について解析し, その自動布線検査について考察を行なったので, その結果を報告する.

(3) 伝ばん遅延時間をもつ素子で構成される, 論理回路のシミュレーション

磯部 俊夫 (航技研)

〔概要〕 伝ばん遅延時間を有する素子で作られたシステムの, シミュレーションのためのプログラムについて述べる.

IFIP Congress '74 の参加について

既報のとおり, IFIP Congress '74 が, 本年 8 月 5~10 日にストックホルムで行なわれます. 参加を希望される方は, 参加申込書を, 返信用封筒 (定形大型, 40円切手添付) 同封のうえ, 学会事務局までご請求ください.

なお, 同 Congress に前後して, 1) ICC-International Conference on Computer Communication (於ストックホルム, 8 月 12~14 日) および 2) 第 2 回パターン認識国際会議 (於コペンハーゲン, 8 月 13~15 日) が行なわれますので, 併せてお知らせいたします. (参加者の便を考慮し, 交通公社で 30 名程度の団体旅行を企画しておりますので, 本誌広告ページをご参照ください.)

新年度会費の納入について

本誌 1 月号からお知らせしてまいりましたとおり, 本会では会費の全額前納制をとっております. 新年度 (昭和 49 年度) 会費を未だ納入済みでない会員は, 本年度内 (昭和 48 年 3 月 31 日まで) に間に合うよう, 至急お納め願います. (ご送金には, 本誌 1, 2 月号とじ込みの振替用紙をご利用ください.) もしご送金がありませんと, 不本意ながら会誌の発送を止めることもありますので, あらかじめご承知おきください.

なお, 退会を希望される会員は, 同様に本 48 年度中に, 至急, 文書 (ハガキで可) をもってお申し出願います. (規程により退会届をいただくことになっております.)